月 間 市 況 等 報 告 集 計 表（6年　2月分）

1. 生鮮食料品等の市況

富山中央青果株式会社

（1）市況の概要

※. 入荷数量＝t　　比＝%　　平均単価＝円

種類	市 況 の 概 要	入荷数量	前年同月比 前月比	kg当り 平均単価	前年同月比 前月比
野菜	2月は5日に関東地方を中心に降雪があり、大きく気温が低下した。中旬は打って変わり、気温が20度を超える日があるなど温暖だったが、下旬は再び気温低下して雨天が多かった。上旬の降雪により収穫や輸送が滞り、多くの品目で入荷は減少して長ネギや白菜などで相場上昇。	1,641	104% 106%	244	97% 101%
果実	国内果実の中心は、イチゴ、リンゴ、ミカンであったが、全体的に入荷量は少なかった。イチゴは、寒波の影響で少なく、リンゴはシーズンを通して高値が続き、販売は苦戦。みかんは晩生種になるが少ないながら好調であった。	702	98% 88%	357	118% 104%

（2）主要品目の市況

※. 入荷数量＝t　　比＝%　　平均単価＝円

主 要 品 目		市 況 の 概 要	入荷数量	前年同月比 前月比	kg当り 平均単価	前年同月比 前月比
野菜	だいこん	鹿児島県産の入荷販売で2L中心の流れ。数量も潤沢で毎週1000ケース以上の入荷。	110	122% 76%	116	94% 109%
	にんじん	愛知県産中心の販売。前進出荷のため数量少なく週3回から週2回入荷。 3月上旬に愛知終了予定	129	125% 208%	107	91% 82%
	キャベツ	愛知県産中心の販売で毎週2500～3000ケースの入荷。 愛知は5月まで入荷する見込み。	189	106% 129%	83	95% 98%
	きゅうり	高知、群馬産販売で1月中下旬にかけて気温も例年に無い高さであり、天候も安定し上旬には数量増加傾向で推移。しかし、気象条件が良すぎた為、前進出荷。その後、曇天多く減少し最終市場流通大激減となった。	70	132% 108%	449	105% 105%
	たまねぎ	北海道産の出荷が多く在庫過多。L中心の流れ。高値基調。 新玉葱は雨の影響で少ない状態。	354	116% 89%	157	144% 91%
果実	みかん	和歌山県産主体の入荷、引き合いも強く堅調な販売であった。	105	138% 37%	335	111% 109%
	いよかん	本年小玉傾向で出荷量が少なく、販売期間も短くなった。味、品質は良好であった。	38	67% 543%	267	121% 92%
	サンフジ	青森県産主体。出荷数量が少なく高値での販売。	27	55% 159%	421	150% 93%
	いちご	2番果、3番果の端境もあるが、2月中の寒波の影響により出荷量は少なかった。	32	76% 97%	1,535	111% 92%
	バナナ	他の国内、国外フルーツの高価もあり前年よりも順調な販売であったが、産地洪水の影響もあり、日本全体の入荷量は減少した。	250	112% 92%	207	101% 104%

2. 取扱品目の卸売実績

（金額：税込み）

種　類		数 量（kg）			金額（円）		
		受託	買付	計	受託	買付	計
野菜	一般野菜	975,966	665,403	1,641,369	270,148,015	162,713,504	432,861,519
	加工野菜			0			0
	花き						
	その他						
	冷凍食品						
	計	975,966	665,403	1,641,369	270,148,015	162,713,504	432,861,519
果実	一般果実	179,054	522,737	701,791	97,511,227	172,989,971	270,501,198
	加工果実			0			0
	その他						
	冷凍食品						
	計	179,054	522,737	701,791	97,511,227	172,989,971	270,501,198
合計		1,155,020	1,188,140	2,343,160	367,659,242	335,703,475	703,362,717